

「令和3年度 地域公益活動を考える オンライン実践発表会」part II

コロナ禍が長期化する中で、社会福祉法人が実施する地域公益活動は、従来の活動方法を変更しての実施や、コロナ禍での課題をふまえて新たに開始した活動等、多様な取組みが見られます。このような活動を進めるにあたっては、地域の住民等の関係者や団体を意識し、どのように連携しながら活動を進めていくのかが重要となります。

今回、東京都地域公益活動推進協議会では、オンライン実践発表会 part II として、社会福祉法人・事業所の実践を発表いただきます。地域公益活動における連携の進め方や取組みの工夫を共有する場にしたいと思います。多くの方のご参加をお待ちしています。

- 1 日 時 令和4年2月14日（月）15時～16時30分
- 2 対 象 地域公益活動に取り組んでいる・取り組みたい施設・事業所、社会福祉法人の区市町村ネットワークによる地域公益活動に取り組んでいる・取り組みたい組織、その他興味のある方。
- 3 開 催 Zoom ウェビナーで開催（カメラ・マイク不要）

4 内 容

「地域公益活動の取組み」

① 中学校と連携したお弁当販売の取組み（社会福祉法人賛育会 清風園）

施設で会食していた子ども食堂（にこにこ清風食堂）は、コロナ禍により施設内に立ち入ることが出来なくなった。そこで、近隣の中学校駐車場をお借りしてお弁当販売に切り替え再開。これを機に、子どもだけでなく、地域の誰でもが利用できるようにした。また同じ場所でフードバンクも行っている。（子ども食堂から9月で通算100回を迎えた）

② 福祉なんでも相談、お弁当配布の取組み（社会福祉法人多摩養育園 八王子市立石川保育園・高倉保育園・養護老人ホーム楢の里）

コロナ禍にあり、住民の悩みや困りごとが急増する中で、地域の相談窓口として「福祉なんでも相談」を法人として実施。法人内の地域包括支援センター長がアドバイザーとなり、相談対応の勉強会や情報共有の場を設けている。子ども食堂は、お弁当配布に形を変え、民生委員の協力を得て実施している。

③ 母子生活支援施設を活用した食支援の新たなつながり（社会福祉法人大洋社）

「子ども虹の架け橋プロジェクト」として、社会福祉法人と企業・団体が連携し、食品の受発注や物流に関する仕組みを構築。拠点となる施設に冷凍冷蔵庫を置き、近くの子ども食堂が食材を受け取っている。現在、16の子ども食堂等と連携。その他、社協が実施する見守り支援「絆サポーター」にも協力している。

●コーディネーター：小林 良二 氏（東京都立大学名誉教授）

5 参加費 無料

6 申込方法

- ・ 東京都地域公益活動推進協議会の申込フォームから2月7日（月）までにお申込みください。上記が難しい場合は、別紙申込書に必要事項を記入し、メール、またはFAXしてください。
- ・ 無料ビデオ会議システムのZoomを使用して開催します（カメラ・マイク不要）。申込をされた方には、開催日2日前までにURLや当日資料等をメールでご案内します。

<参加申込フォーム> <https://bit.ly/3IGx75T>

※東京都地域公益活動推進協議会ホームページからお申込みください。

7 録画配信について

- ・発表会終了後、当日の動画を東京都地域公益活動推進協議会のホームページに 1 か月程度掲載予定です。掲載予定日は2月25日（金）頃です。

8 注意事項

- ・新型コロナウイルスの感染状況によっては、ライブ配信ではなく、収録したものを後日配信するなど、開催方法を変更する場合があります。最新の情報は推進協ホームページをご覧ください。

9 連絡先 東京都社会福祉協議会 福祉部経営支援担当（真鍋）

TEL 03(3268)7192 FAX 03(3268)0635

E-mail : tky-koueki@tcsw.tvac.or.jp

推進協ホームページ : <https://www.tcsw.tvac.or.jp/koueki/index.html>



<https://www.facebook.com/tokyoichiikikoueki>

-----切り取らずにこのまま送付ください-----

FAX 03-3268-0635 東社協 福祉部経営支援担当 行

東京都地域公益活動推進協議会 情報発信委員会

「令和3年度 地域公益活動を考える オンライン実践発表会」part II 参加申込書

法人名		施設名	
連絡担当者名		電話番号	
参加者名		メールアドレス	
【事前質問欄】 ※登壇者への質問があればご記入ください。			

※この名簿は参加とりまとめ以外には利用いたしません。